死亡率高い成人病

40過ぎたら要注意

早期発見がポイント

日本人の死亡率は一位から三位まで「成人病」で占められています。別掲のグラフでもわかるとおり、当市もまた同じです。

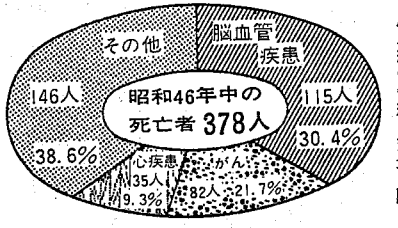
四十歳を過ぎると、高血圧心臓病などの循環器疾患や糖尿病、肝臓病などがひそかにしのびよります。

成人病の特徴は、病気によって多少異なりますが、遺伝素質や生活環境を背景として原因が複雑に積み重なっており▼無自覚におこる▼一度異常がおこるとなおりにくい▼経過が長びく▼よくなっても繰り返し発病しやすい。など、だんだんに進行していくことが多くあります。

また、ある場合には、癒疾状態にまで発展することがありいろいろな合併症をおこすこともあります。

成人病の発病を完全に防ぐことは困難ですが、早く、わずかな異常のうちに発見し、適切な治療と生活の調整を行なえば病気の進行を防ぎ、また、合併症も予防することができます。

市では成人病の中で最も多い循環器疾患対策として次の検診や指導会を行なっています。



四十歳を過ぎてからの食べものについて栄養士から試食しながら説明をきく市民

早い発見には循環器検診を

年に一回、循環器検診を行なっています。

対象は、三十五歳から六十四歳（六十五歳以上は老人検診で）までを結核検診とあわせて行なっています。

昨年、この検診の対象者は一万一千九百二十四名で、受診者数が九千六百十五名（八〇・六％）、このうち百十七名が「要医療」、九十九名が「要注意、要観察」の診断を受けました。

「保健指導会」には積極的に参加して

市では、これらの循環器検診からの発見者に対して母子健康センターで指導会を開いています。機会をのがさず進んで参加してください。

健康を守るため老人健康診査を期間中は無料です

六十五歳以上の老人の健康を守るため、今年度第一回目の「老人健康診査」が七月十五日から三十一日まで、市内の医療機関で実施しています。

該当者で、まだ受診されていないかたは、診査料は無料ですからぜひこの期間中に健康診査を受けられるようおすすめします。

高血圧者指導会のお知らせ

血圧で注意を要する方に対して、7月3日に引き続き、"高血圧者指導会"が次の日程で計画されています。ご参加ください。

とき　7月17日、26日
　　午後1時～3時30分
ところ　母子健康センター
　　（日宝町）
内容　1. 高血圧について
　　2. 生活のあり方について
　　3. 食事のとりかたについて

新津市民は電話じょうず？??

5回に1度はダイヤルミス
間違い電話はみんながめいわく
メモを見ながらダイヤルしましょう。

心をつなぐ　新津電報電話局

水道工事にご協力を

本町三地内　本管敷設で水圧を解消

西大通り線につづく本町三丁目のこ線橋の下から、堀出神社の裏を通って「忠魂碑」付近までの間、水道本管の敷設工事が近く始められます。

この敷設工事は、堀出神社裏の住宅地帯が計画的に開発された地域でなく、住宅が建つごとに本管からそれぞれ細い水道管を何本も引いたいわゆる〝たこ配管〟になって水の出が悪くなっているため、水道本管を敷設して水圧不足を解消しようというものです。

また、この付近一帯は、下水道工事で長いこと交通止めとなり、続いてガス管工事が行なわれ、さらに水道工事とまたしても交通の不便をおかけすることになりますが、下水道工事が完了しないうちは水道もガスも工事ができず、また、水道とガスとは道幅がせまいことや、下水道のマンホールの関係などで同時に工事ができないため、やむを得ず別々に工事をしなければならなくなったものです。

工事期間中のしばらくの間ご不便をおかけすることになりますが、各位の理解とご協力をお願いします。

交通安全功労者で知事表彰を受ける

当市から秋山さんら17名

交通事故防止の願いをこめて県宣言十周年を記念する県民大会が去る十日、県民会館大ホールで開かれ、交通安全に功労のあった県内優良小、中高校…五校、事業所（団体）…十団体、個人…六百七十一名が県知事表彰を受けました。当市からも、秋山きみゑさん（本町二）など次の十七名のかたがたが功労者として表彰され、それぞれに感謝状が伝達されました。

交通安全功労者（関係分）

秋山きみゑ（本町二）、山田誠之進（本町二）、遠藤茂夫（本町二）、吉田国春（本町三）、高山節子（古津）、栗原祐一（四興野）、吉井喜代太（山谷町）、帯マサノ（本町四）、大野貞一（本町一）、阿部修次（山谷二）、佐藤七治（中野）、田村虎雄（荻島）、橋本勇吉（田家一）、田村勇二（本町一）、渡辺民子（本町一）、長谷川太一郎（北潟）、川崎三午（秋葉二）（順不同・敬称略）

交通共済関連手続き　市民課窓口で事務所管が一部変わる

この七月一日から市役所の取り扱い事務の一部が次のとおり変わりました。

所管課換えとなったしごとは県交通災害共済に加入しているみなさんが、交通事故などで見舞金の給付を受けるための手続きをする「交通共済」事務と、交通遺児に見舞金を給付するいわゆる「交通遺児激励金」事務の二つの交通関係事務で、これまで企画室に取り扱っていた交通共済のいっさいのしごとは、市民課の窓口係りへ、また、交通遺児激励金のしごとは、社会福祉事務所へそれぞれ移され行なわれています。

交通共済に関するこれまでのしごとは、事故相談や加入の申し込み受け付けを市民課で、給付やその他の手続きなどのしごとは企画室でというように、市民のみなさんが利用する窓口が二つにわかれていたため、何かと不便をかこっていたもので、市民サービスと事務の円滑化を考えてこのたびの所管課換えとなったものです。

同時に、交通事故をはじめすべての相談には、市民課の市民相談係りが窓口となってみなさんからのいろいろな相談も合せて行なっています。

なお、このほかの交通関係のしごとでは、交通安全に関する企画・指導などのしごとがありますが、これは、従来どおり企画室の公害交通係りで取り扱っています。

小学生に午前中図書館を開放

夏休みの学習と読書に利用して

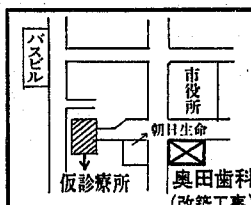
市立図書館では、今年も七月二十六日から八月三十一日までの日曜を除いた毎日、ふだん利用できない小学生のために午前中を開放します。

これは、小学生の夏休み中の学習に役立ててもらおうと朝の九時から正午までの三時間、小学生と父兄同伴の幼児に限り開放するもので、この時間には、夏休み中の宿題や学習などの相談にも応じます。

なお、収容人員などのこともありますが、できるだけ多くの子どもたちから利用してもらうため、調べもの以外の読書は、本を借りて家庭で読まれるようご協力ください。

また、図書館から遠くて利用困難な子どもたちには、夏休み中、地域のPTA単位で図書の貸し出しを行ないますのでお申し込みください。

待ちどおしいものは
資生堂ホネケーキ
ご贈答セット
第四銀行が向い
北越銀行がとなり
マツヤ　TEL (2)0418



改築につき
移転しました
奥田歯科医院